

足柄上病院 内科認定医・専門医研修カリキュラム

<p>研修目的</p>	<p>内科系の疾患に関しては臓器に偏ることなく満遍なく扱えることを理想として、多くの症例を経験し、common diseaseに関しては診療し診断・治療できる能力をもつこと、さらに必要があれば診断した上で、専門医を紹介する能力を養い全人的医療を担える医師となることを目標として研修する。</p>								
<p>研修目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 内科の診療における診断方法の習得と治療方針の決定</li> <li>2 特にプライマリーケア領域診療における診断方法の習得と治療方針の決定</li> <li>3 common diseaseに対しevidenceに基づいた診断・治療を実践できる</li> <li>4 病態生理学に基づいた診療を実践できる</li> <li>5 身体診察が状況によって使い分けられる</li> <li>6 症例を的確かつ簡潔にプレゼンテーションできる</li> <li>7 心理社会的な理解に基づいた患者およびその家族との良好な人間関係の構築</li> <li>8 がん患者の疼痛管理を含む緩和医療の実施</li> <li>9 臨床疫学と医学統計の理解</li> <li>10 学会での発表および論文の作成</li> <li>11 上記により、総合診療医として必要な知識を習得する</li> </ol>								
<p>年度別到達目標</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="225 824 304 1144"> <p>1年目到達目標</p> </td> <td data-bbox="304 824 1382 1144"> <p>日本内科学会の指定する内科認定医研修カリキュラムに沿った修練を行う。 最初の1年間は内科診療に必要な基礎的知識・技術を習得するため足柄上病院総合診療科(内科)にて研修し内科認定医の資格取得を目指す。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="225 1144 304 1464"> <p>2年目到達目標</p> </td> <td data-bbox="304 1144 1382 1464"> <p>日本内科学会の指定する内科専門医研修カリキュラムに沿った修練を行い、内科専門医取得を目指す。 内科全体を広く理解し、総合的診療ができる医師となることが理想である。 2年目以降は希望に応じ、県立病院群との連携をしつつ県立がんセンター、県立循環器呼吸器病センター、県立こども医療センターで研修を行うことも出来る。研修期間中に内科サブスペシャリティの専門医の取得も可能である。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="225 1464 304 1785"> <p>3年目到達目標</p> </td> <td data-bbox="304 1464 1382 1785"> <p>同上</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="225 1785 304 2089"> <p>4年目到達目標</p> </td> <td data-bbox="304 1785 1382 2089"> <p>同上</p> </td> </tr> </table>	<p>1年目到達目標</p>	<p>日本内科学会の指定する内科認定医研修カリキュラムに沿った修練を行う。 最初の1年間は内科診療に必要な基礎的知識・技術を習得するため足柄上病院総合診療科(内科)にて研修し内科認定医の資格取得を目指す。</p>	<p>2年目到達目標</p>	<p>日本内科学会の指定する内科専門医研修カリキュラムに沿った修練を行い、内科専門医取得を目指す。 内科全体を広く理解し、総合的診療ができる医師となることが理想である。 2年目以降は希望に応じ、県立病院群との連携をしつつ県立がんセンター、県立循環器呼吸器病センター、県立こども医療センターで研修を行うことも出来る。研修期間中に内科サブスペシャリティの専門医の取得も可能である。</p>	<p>3年目到達目標</p>	<p>同上</p>	<p>4年目到達目標</p>	<p>同上</p>
<p>1年目到達目標</p>	<p>日本内科学会の指定する内科認定医研修カリキュラムに沿った修練を行う。 最初の1年間は内科診療に必要な基礎的知識・技術を習得するため足柄上病院総合診療科(内科)にて研修し内科認定医の資格取得を目指す。</p>								
<p>2年目到達目標</p>	<p>日本内科学会の指定する内科専門医研修カリキュラムに沿った修練を行い、内科専門医取得を目指す。 内科全体を広く理解し、総合的診療ができる医師となることが理想である。 2年目以降は希望に応じ、県立病院群との連携をしつつ県立がんセンター、県立循環器呼吸器病センター、県立こども医療センターで研修を行うことも出来る。研修期間中に内科サブスペシャリティの専門医の取得も可能である。</p>								
<p>3年目到達目標</p>	<p>同上</p>								
<p>4年目到達目標</p>	<p>同上</p>								

<p>全年次を通して</p>	<p>病棟患者7～8名の担当医となり、診断に必要な各種検査の指示を行い、治療方針を決定し実施する。また、患者およびその家族に治療方針の説明をし、心理社会的な理解に基づいた良好な人間関係の構築をまなびコミュニケーションやインフォームドコンセントにつき修練する。</p> <p>週に1日程度一般内科外来で内科系common diseaseに対する診断・治療及び紹介技能を研修する。</p> <p>急患外来、夜間当直等も経験して救急患者に対する緊急時の初期対応に関しても修練する。</p>
<p>指導体制</p>	<p>1 研修指導</p> <p>日本内科学会認定内科医・専門医、日本消化器病学会専門医、日本循環器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本神経内科学会専門医、感染症管理医師(ICD)、日本医師会認定産業医が行う。(2年目以降は各県立病院群の指導医につくことも可能である)</p> <p>2 原則として、主治医として常時7～8名前後の患者を受け持ち、指導医やスタッフとともにその診療を通して研修目標を達成する。</p> <p>3 定期的に研修目標達成の進捗具合をチェックする。</p> <p>a 毎日指導医と連絡をとり、その日の研修内容と結果をチェックする。</p> <p>b 個々の後期研修医の目標達成度を適宜チェックし、その欠点や弱点を補うために適宜受け持ち患者や研修スケジュールを調整する。</p>
<p>研修内容</p>	<p>1 病棟研修</p> <p>a 入院受け持ち患者の診療:毎日、必要に応じて夜間・休日も</p> <p>b 診療録の記載:毎日遅滞なく記載する、必要に応じて夜間・休日も</p> <p>c カンファレンスでの受け持ち患者の症例提示</p> <p>d 病棟当番(週1回程度):入院患者の小指示及び点滴等</p> <p>e 外科とのカンファレンス(術前症例の症例提示等)</p> <p>2 外来・検査実技等</p> <p>a 腹部、心エコー検査等の実施</p> <p>b 患者の診療:必要に応じて再来及び新患患者の診察</p> <p>c 消化管内視鏡検査の実施</p> <p>d 気管支内視鏡検査の実施</p> <p>e その他:それぞれの研修医の希望に応じて対応する</p> <p>3 カンファレンスへの参加</p> <p>a 病棟カンファレンス(週1回)</p> <p>b 外科とのカンファレンス(週1回)</p> <p>c CPC(年5-6回)</p> <p>d 医師会との研究会(年3回程度)</p> <p>4 総合診療科早朝カンファレンス(週2回)</p> <p>5 医療スタッフのためのよく見る病気の勉強会(隔週)</p> <p>6 内科学会等の関連学会への演題提出及び発表</p>
<p>研修評価方法</p>	<p>部長による研修評価のほか、他スタッフにより逐次評価を受け、目標達成度のチェックを行う。</p>